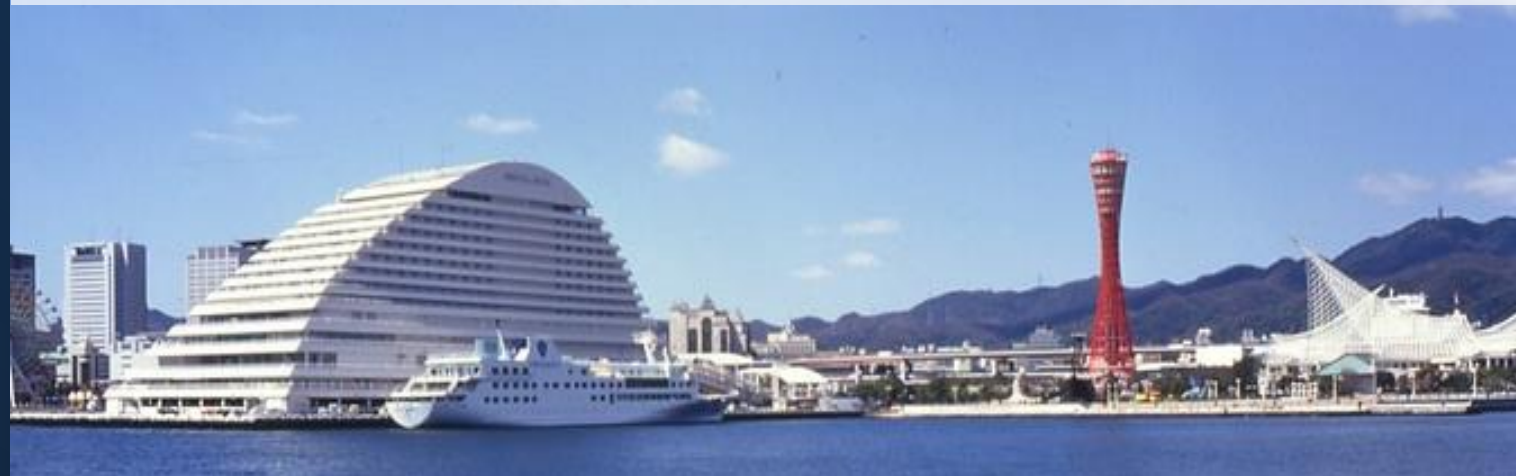


Bible Forum in KOBE

~KOBE MOTOMACHI Bible Forum~



~KOBE Bible Forum~



ニックネーム
KBF(神戸ビーフ)
KMBF(コンビーフ)

第1回～第12回
神戸元町聖書フォーラム
イントロ用の可視化ツール

クレイ聖書解説コレクション
「ヨハネの黙示録」1章～22章

2016年1月～12月分

ご利用方法について

○格納場所 <http://seishoforum.net/>
神戸元町聖書フォーラムのトップページ

○2種類の格納方法

PDF版…携帯端末からはこちらで参照ください
※発表者コメントはみれません。

データ版…PCから見る場合は、こちらをご参照
※発表者コメントも確認できます。

お願い！

このパワーポイント資料は

Clay クレイ聖書解説コレクション 「ヨハネの黙示録」

を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の
電子版か紙版テキストと合わせて
必ずご参照・ご活用下さい！

*神戸元町聖書フォーラムでまとめ買いしております。
お求めの際はお気軽にお声掛け下さい。

1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

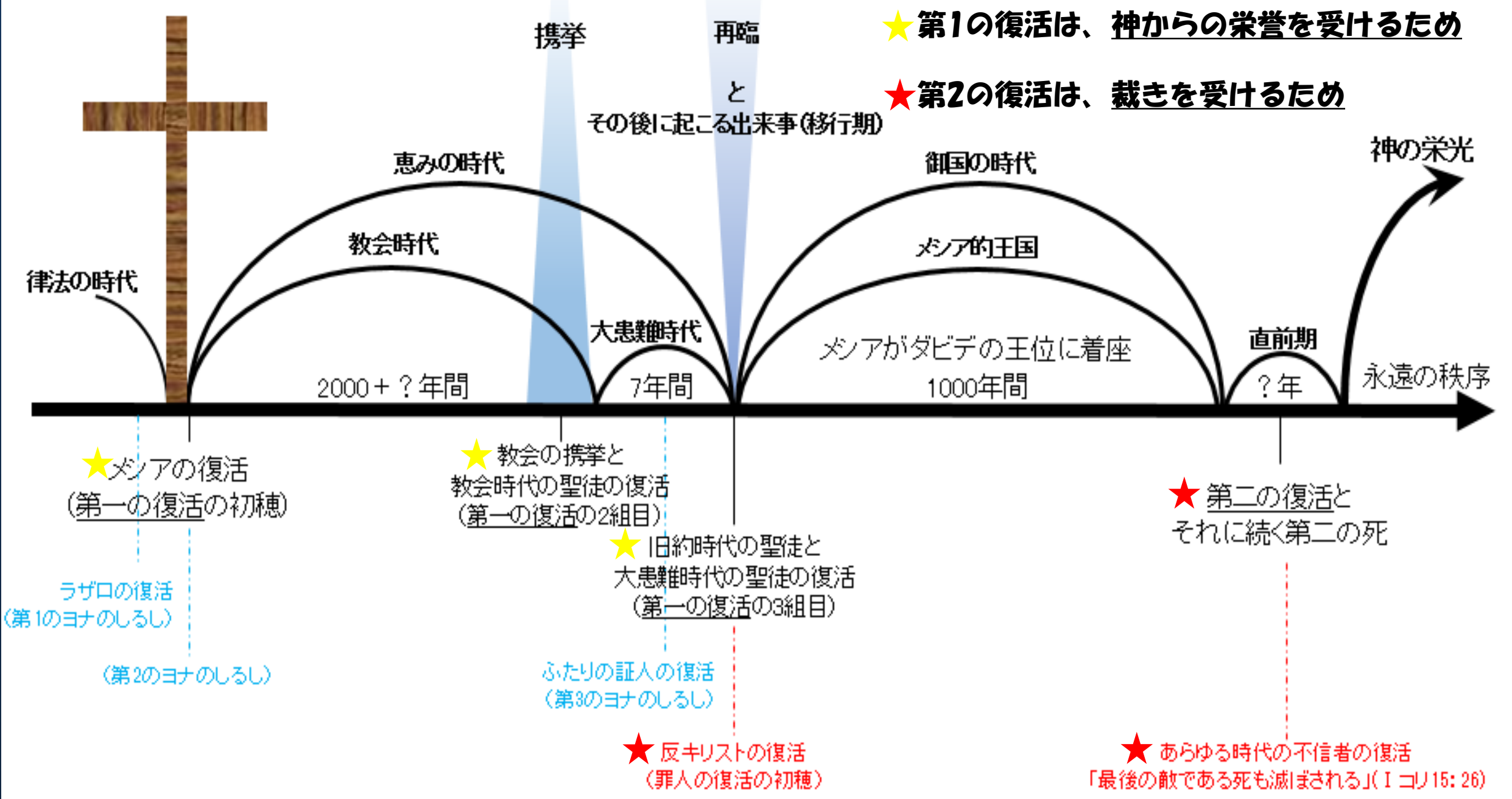
全体構造理解の大前提！

ティスペンセーション・リズム

定義「ティスペンセーションとは
神の計画が進展していく過程において出現する
明確に区分可能な神の経緯（時代・時代区分）

- (1) 聖書を字義通りに解釈
- (2) イスラエルと教会を一貫して区別。
神がユダヤ民族と
アブラハム契約を結ばれたこと
それが永遠の契約であることを認める。
- (3) 歴史を貫くテーマは「神の栄光」

時代区分	過去					現在	未来	神の栄光 時間を超越した永遠の秩序 黙21:1 ~22:5
	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~	④ ~約束の時代~	⑤ ~律法の時代~	⑥ ~恵みの時代~	⑦ ~御国の時代~	
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10	
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア	
1. エデン契約 聖書箇所	→ ・創1:26~31・創2:16~17							
2. アダム契約 聖書箇所		→ 【2】 ・創3:14~19						
3. ノア契約 聖書箇所			→ 【3】 ・創9:1~17					
4. アブラハム契約 聖書箇所				→ 【4】 ・創12:1~3 ・創12:7・創13:14~17 ・創15:1~21 ・創17:1~21 ・創22:15~18				
5. モーセ契約 聖書箇所					→ 【5】 ・出19:3~8 ・広くは出20:1~31:18			
6. 土地の契約 聖書箇所					→ 【6:土地】 ・申29:1~30:1 *特に申29:1に注目			
7. ダビデ契約 聖書箇所					→ 【7:子孫】 ・Ⅱサム7:11b~17(ソロモン強調) ・Ⅰ歴17:10b~15(メシア強調)			
8. 新しい契約 聖書箇所					→ 【8:祝福】 ・エシ31:31~34			



序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」

あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

-----> 再臨までのプロセス

-----> クライマックスは再臨

結論(22:6~21)

II. 黙示録アウトライン

イントロ

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認
2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認
3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解

- (1) 第1回 黙示録1章
- (2) 第2回 黙示録2～3章
- (3) 第3回 黙示録4～5章
- (4) 第4回 黙示録6～7章
- (5) 第5回 黙示録8～11章

- (6) 第6回 黙示録12~14章
- (7) 第7回 黙示録15~16章
- (8) 第8回 黙示録17~18章
- (9) 第9回 黙示録19章
- (10) 第10回 黙示録20章
- (11) 第11回 黙示録21章~22章5節
- (12) 第12回 黙示録22章6節~21節

III. 全12回の展望

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

{1}大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

{2}大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

{3}大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

{4}反復: 2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)

← 第1回(1/30)

← 第2回(2/27)

← 第3回(3/26)

← 第4回(4/16) 6~7章、第5a回(5/28) 8~9章

← 第5b回(5/28) 10~11章、第6回(6/25) 12~14章

← 第7回(7/16)

← 第8回(8/27)

← 第9回(9/24) 19章

← 第10回(10/29) 20章

← 第11回(11/26)

← 第12回(12/24)

IV. 結論：携挙と再臨への備え

- (1) モットー
- (2) 聖書フォーラム運動の基本理念
- (3) 自立への道

このイントロ用可視化資料は、
黙示録の章単位や全体を把握するための資料である。

ここからが本論！

...

復習：第1回) 黙1章

序言

あいさつ

ヨハネが見た事：栄光に輝く人の子

~1:1「イエスキリストの黙示」~

~1:7「黙示録のテーマ」~

~1:19「黙示録のアウトライン」~

1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

「 1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。 」

3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。 」

黙示録の要点

(1) 黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス** (黙1:7)

(2) 再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心** (ゼカリヤ12:10)

(3) 終末論の出来事の流れ

携拳→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心→メシアの再臨→千年王国

(4) 大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的は、**靈的なもの(再臨の阻止)**

(5) 執筆経緯は **「迫害の中にいる人々」と「教会全体」への励ましと矯正**

「22:7 見よ。わたしはすぐに来る。この書の預言のことばを**堅く守る**者は、幸いである。」

「堅く守る」とは、「心に留め見張っている状態」を言います。

黙示録のテーマを理解し、主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

そして再臨の条件であるユダヤ人の民族的回心を祈りつつ、教会としての責務を果たしましょう！

ユダヤ人に対する教会の責務まとめ

1. 福音を伝える ロマ1:16

- ①動詞は現在形。今も真理である。
- ②福音は、ユダヤ人に、次に異邦人に伝える。※パウロの伝道の原則でもある
- ③この原則は、あらゆる団体、個人、地域に適用される。

2. 物質的な物を分かち合う ロマ15:25~27

- ①異邦人は霊的な祝福をユダヤ人から受けた。
- ②それゆえ、物質的な祝福を届けるべきである。
※経済的な必要性 ※ユダヤ人伝道への支援

3. ユダヤ人のために祈る

- ①詩122:6 ②イザ62:1~2 ③イザ62:6~7 ④ロマ10:1

復習：第2回) 黙2~3章

今ある事：教会時代
~七つの教会(地域教会)について~

アジアにある7つの教会



7つの教会への手紙 (ヨハネの黙示録 2：1～3：22)

教会名	内容	キリスト描写	賞賛	叱責	奨励	約束
エペソ 意味：好ましい (黙 2：1～7) 使徒時代の教会の型 紀元 30 年～ 100 年頃		<ul style="list-style-type: none"> ・右手に七つの星を持つ方 ・七つの金の燭台の間を歩く方 	<ul style="list-style-type: none"> ・行いと労苦と忍耐 ・悪い者たちを追放した ・偽教師たちの教えを拒否した ・ニコライ派の行いを憎んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めの愛から離れてしまった 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこから落ちたかを思い出せ ・悔い改めよ ・初めの行いをせよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・いのちの木の實を食べる
スミルナ 意味：没薬 (黙 2：8～11) 迫害時代の教会の型 1 世紀～ 4 世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・初めであり、終わりである方 ・死んで、また生きた方 	<ul style="list-style-type: none"> ・貧しさや迫害に耐えている 		<ul style="list-style-type: none"> ・苦しみを恐れるな ・死に至るまで忠実であれ 	<ul style="list-style-type: none"> ・いのちの冠が与えられる ・第二の死によってそこなわれることはない
ペルガモ 意味：結婚した (黙 2：12～17) 国家教会時代の教会の型 4 世紀～ 5 世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・鋭い、両刃の剣を持つ方 	<ul style="list-style-type: none"> ・キリストの名を堅く保っている ・キリストに対する信仰を捨てなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・バラムの教えを奉じている人々がいる ・ニコライ派の教えを奉じている人々がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・悔い改めよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・隠れたマナ (栄光のキリスト) が与えられる ・新しい名が記された白い石が与えられる
テアテラ 意味：継続した権性 (黙 2：18～29) 暗黒時代の教会の型 6 世紀～ 15 世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・燃える炎のような目を持つ方 ・その足は光り輝くしんちゅうのような方 ・神の子 	<ul style="list-style-type: none"> ・行い、愛、信仰、奉仕、忍耐 ・初めの行いにまさる行いをしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・不品行と偶像礼拝を教える女イゼベルを容認した 	<ul style="list-style-type: none"> ・悔い改めよ ・正しい行いと教理を維持せよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸国の民を支配する権威が与えられる ・明けの明星 (キリスト) が与えられる
サルデス 意味：逃れる者 (黙 3：1～6) 宗教改革時代の教会の型 16 世紀～ 17 世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・神の 7 つの御霊、および 7 つの星を持つ方 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい行い ・生きているとの評判がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・実は死んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・目をさませ ・死にかけているほかの人たちを力づけよ ・聞いたことを思い出し、それを堅く守り、悔い改めよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・白い衣を着せられる ・父と天使たちの前で、キリストがその名を言い表す
フィラデルフィア 意味：兄弟愛 (黙 3：7～13) 大主教時代の教会の型 18 世紀～ 19 世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・聖なる方、真実なる方 ・ダビデのかぎを持っている方 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい行い ・キリストのことばを守り、その名を否まなかった 			<ul style="list-style-type: none"> ・試練の時 (大患難時代) から守られる ・神の聖所の柱とされ、神の御名、新しいエルサレムの御名、キリストの新しい名が記される
ラオデキア 意味：人々が支配する (黙 3：14～22) 腐敗時代の教会		<ul style="list-style-type: none"> ・アーメンである方 ・忠実で、真実な証人 ・神に造られたものの根源である方 		<ul style="list-style-type: none"> ・熱くも冷たくもない ・生ぬるいので口から吐き出す ・みじめで、衰れで、盲目で、裸の者である 	<ul style="list-style-type: none"> ・火で精錬された金をキリストから買え ・裸の恥を隠さないために着る白い衣を買え ・目に塗る目薬を買え 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝利を得る者は、キリストと食事をする ・キリストとともに統治する

教会時代

教会の携挙と復活の時期
(第一の復活の二組目)

メノアの復活
(第一の復活の初種)

大患難

2000 + ? 年

この後に起こる事
(4~22章)

主の日

現代

今ある事: 教会時代
(2~3章)

宗教的大バビロン大淫婦 (17章)

1900~現代

7: ラオデキヤ 「人々が支配する」 「背信の教会」

6: フィラデルフィア 「大宣教時代の教会」 「兄弟愛」

5: サルデス 「逃れ出る」 「宗教改革時代の教会」

4: テアテラ 「継続した犠牲」 「暗黒時代」

3: ベルガモ 「結婚した」 「国家教会」

2: スルナ 「迫害時代の教会」 「没落」

1: エベソ 「好ましい」 「使徒時代の教会」

I あなたの見た事 (1章)

主の日: 主の栄光が輝きわたる特別な日

100~313年

30~100年頃

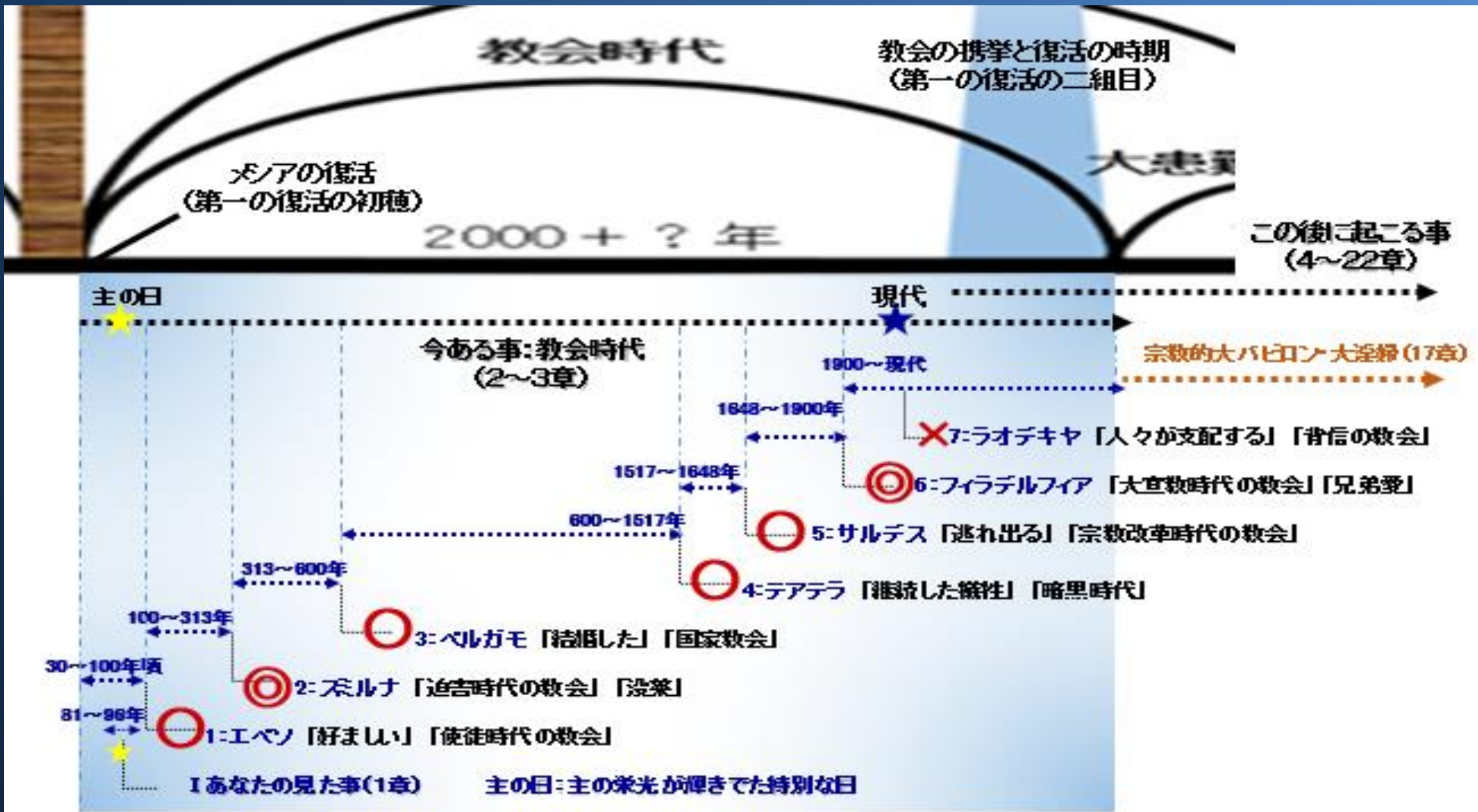
81~98年

313~600年

600~1517年

1517~1648年

1648~1900年



復習：第3回) 黙示録4～5章

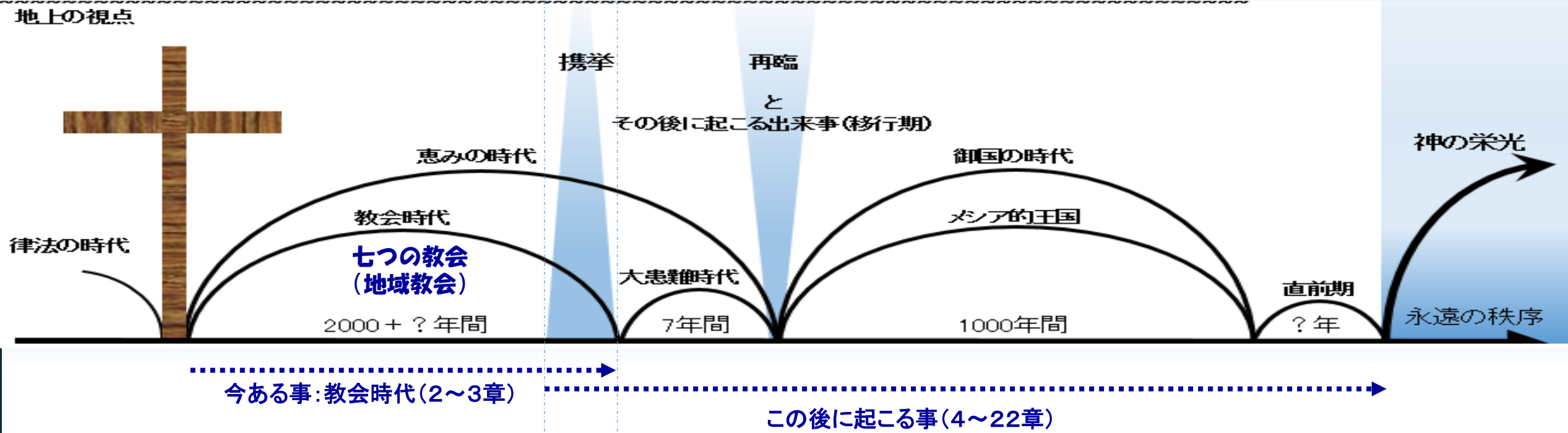
大患難時代の前に天で起こる出来事
～24人の長老(普遍的教会)について(4～5章)～

1. 1つの御座と御座についている方(父なる神とシャカイナグローリー)
2. 24人の長老(普遍的教会: 白い衣: 金の冠: 教会全体を象徴)
3. 7つの霊(聖霊の7つの性質: 七重の御霊、イザ11:2、黙1:4、3:1、5:4)
4. 四つの生き物(セラフィム「1獅子」「2雄牛」「3人間」「4鷲」)
5. ユダ族の獅子(勝利の王、再臨のキリスト)
ほふられたとみえる小羊(受難のしもべ、初臨のキリスト)

7つの封印で綴じられた巻物

大患難時代の前に天で起こる出来事
(4:1~5:14)

*ヨハネが天に招かれたのであり、携挙されたのではない
*ヨハネが見た様子、天の視点



復習：第4回) 黙示録6～7章

ダニエル書9章

大患難時代の3つの目的

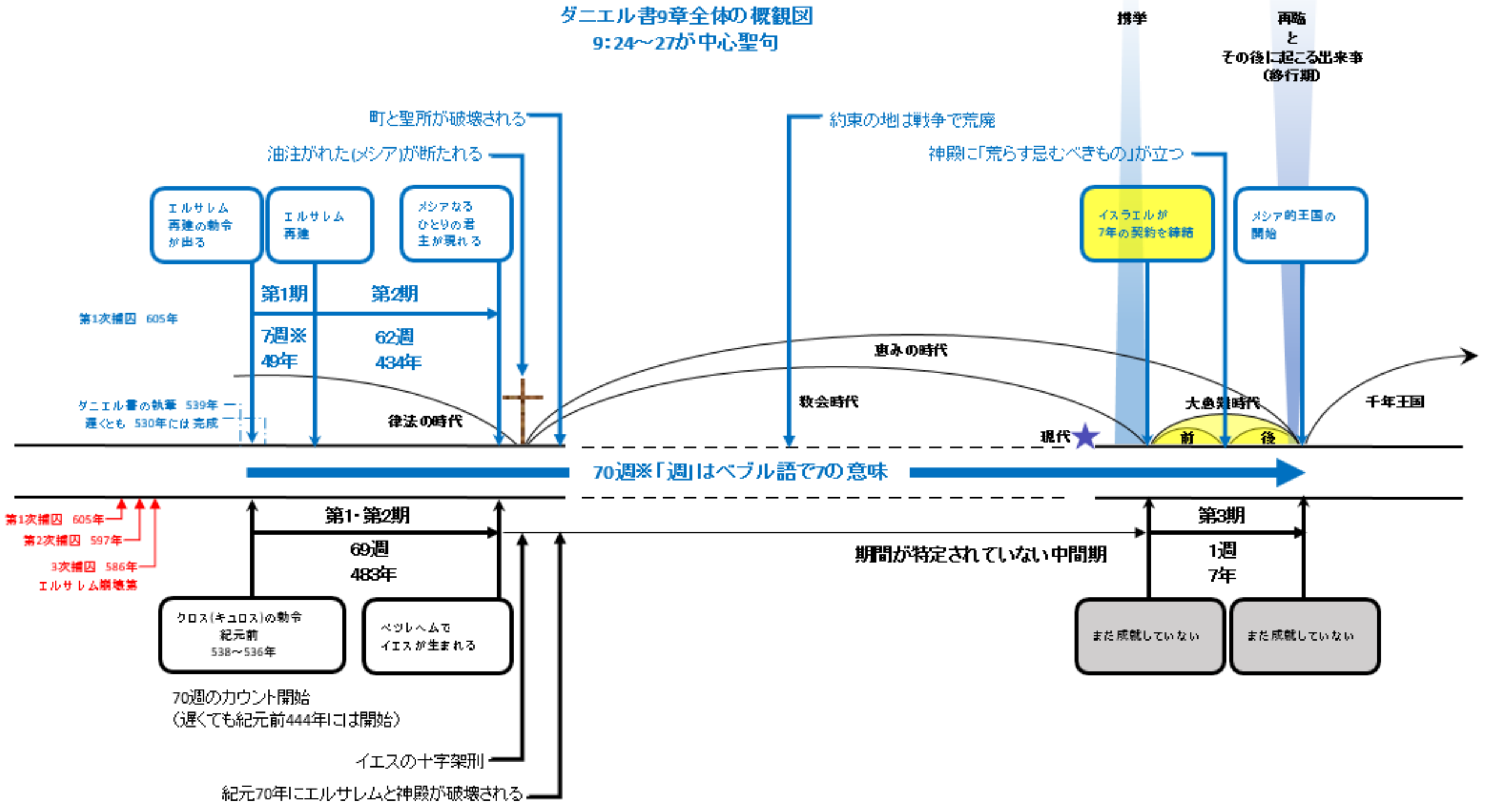
前半の前半に起こる出来事

～封印の裁き(6章)～

前半3年半に起こるリバイバル

～144,000人のユダヤ人(7章)～

ダニエル書9章全体の概観図
9:24~27が中心聖句

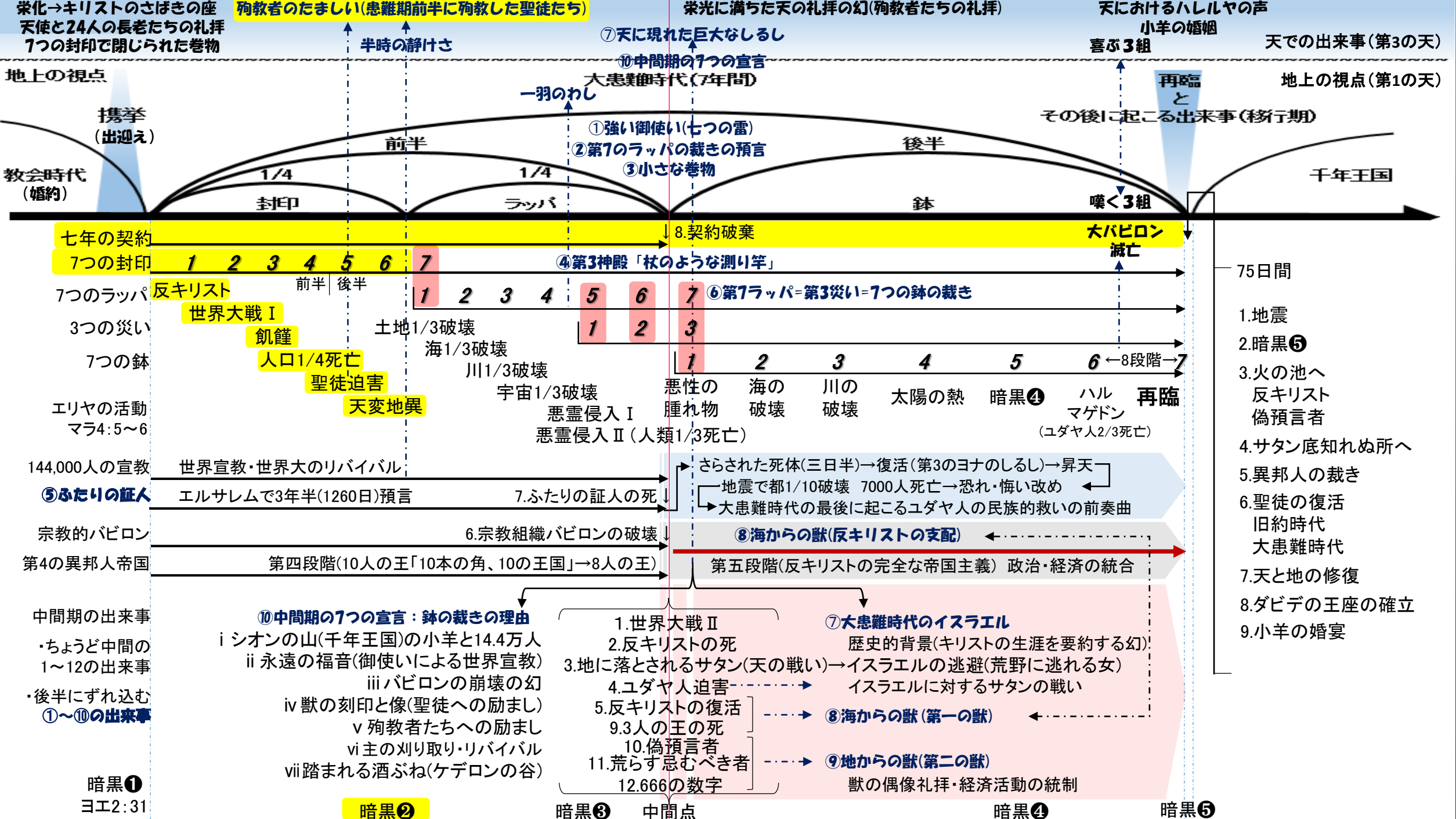


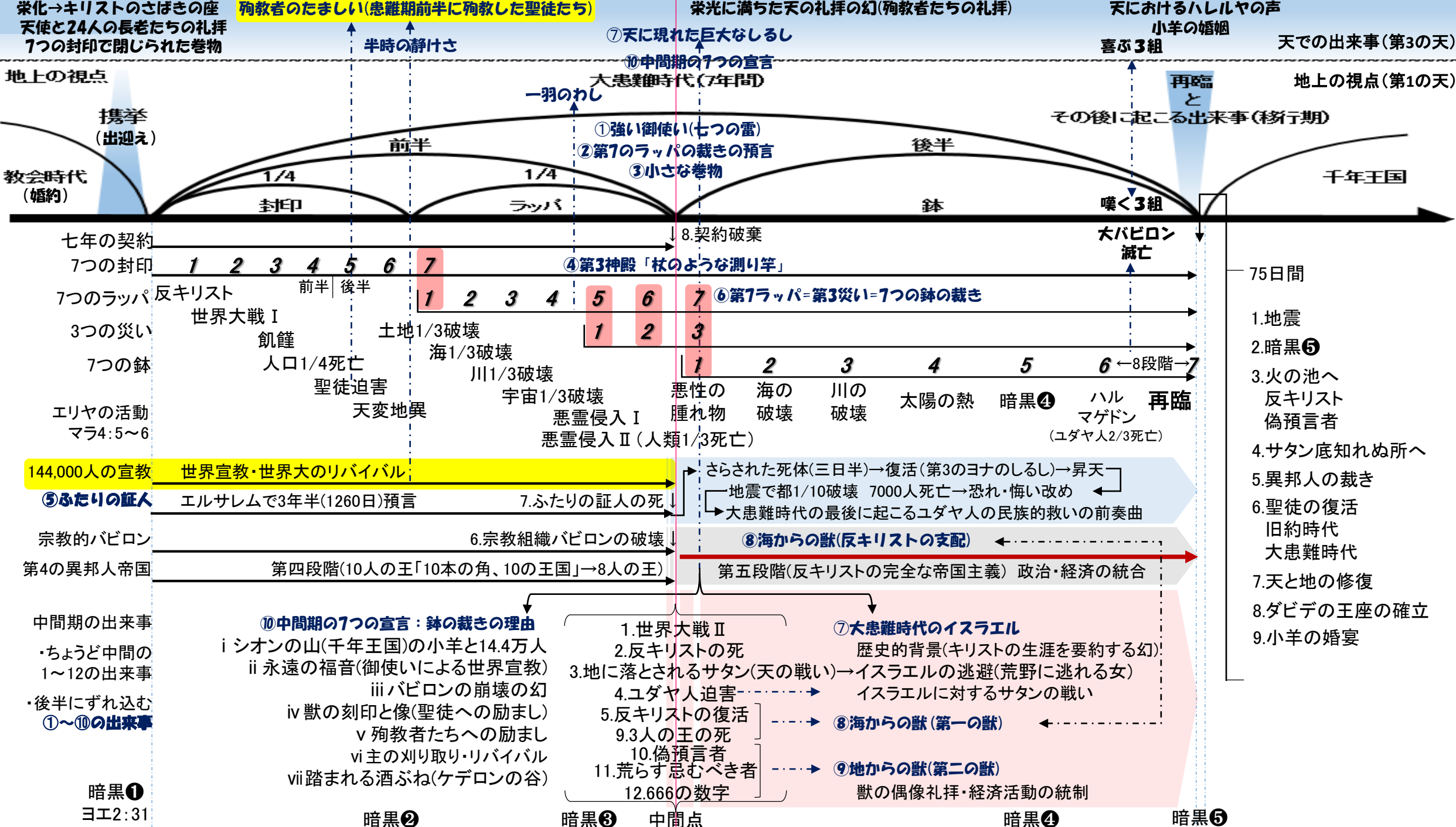
大患難時代の3つの目的

① 邪悪を一掃 (イザヤ書13:9)

② 世界大のリバイバル (黙示録7章 マタ24:14)

③ イスラエルの国家的な新生(再臨の条件)
(ダニエル書12:7)





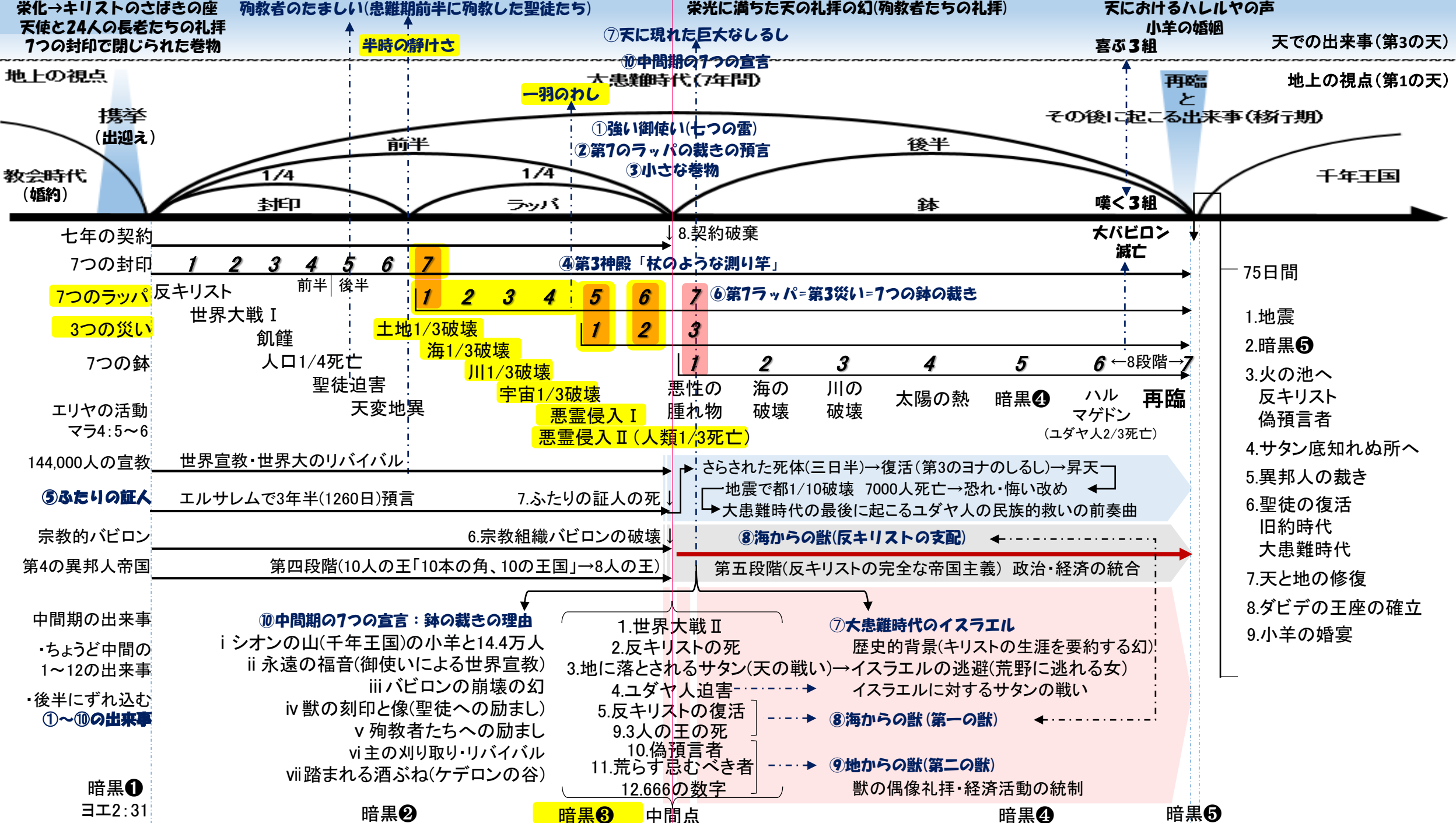
復習：第5回) 黙示録8～11章

前半の後半に起こる出来事

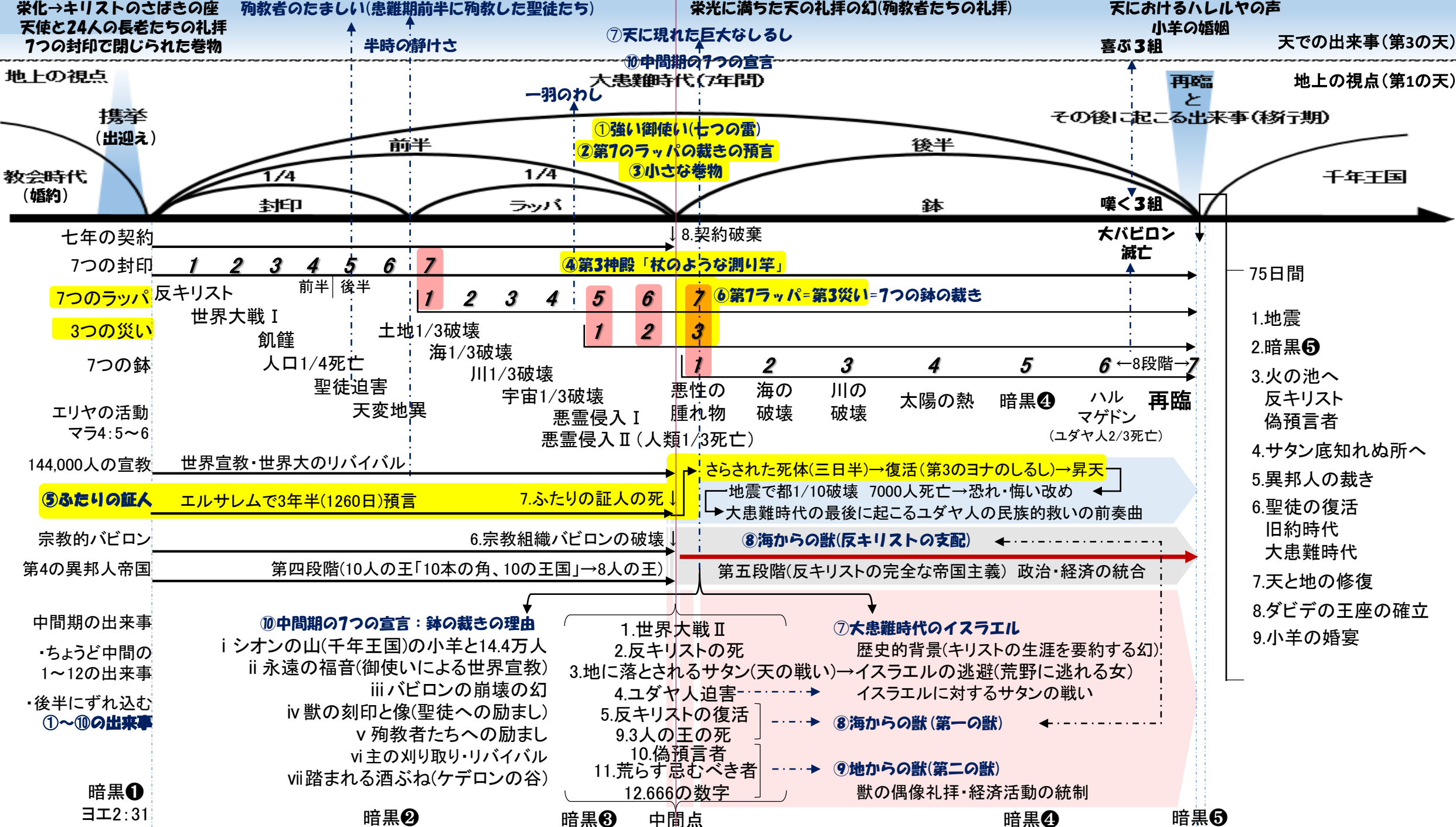
～ラッパの裁き(8～9章)～

中間に起こる出来事

～ちょうど中間(10～11章)～



- 75日間
- 地震
 - 暗黒⑤
 - 火の池へ反キリスト偽預言者
 - サタン底知れぬ所へ
 - 異邦人の裁き
 - 聖徒の復活
旧約時代
大患難時代
 - 天と地の修復
 - ダビデの王座の確立
 - 小羊の婚宴



暗黒①
ヨエ2:31

暗黒②

暗黒③ 中間点

暗黒④

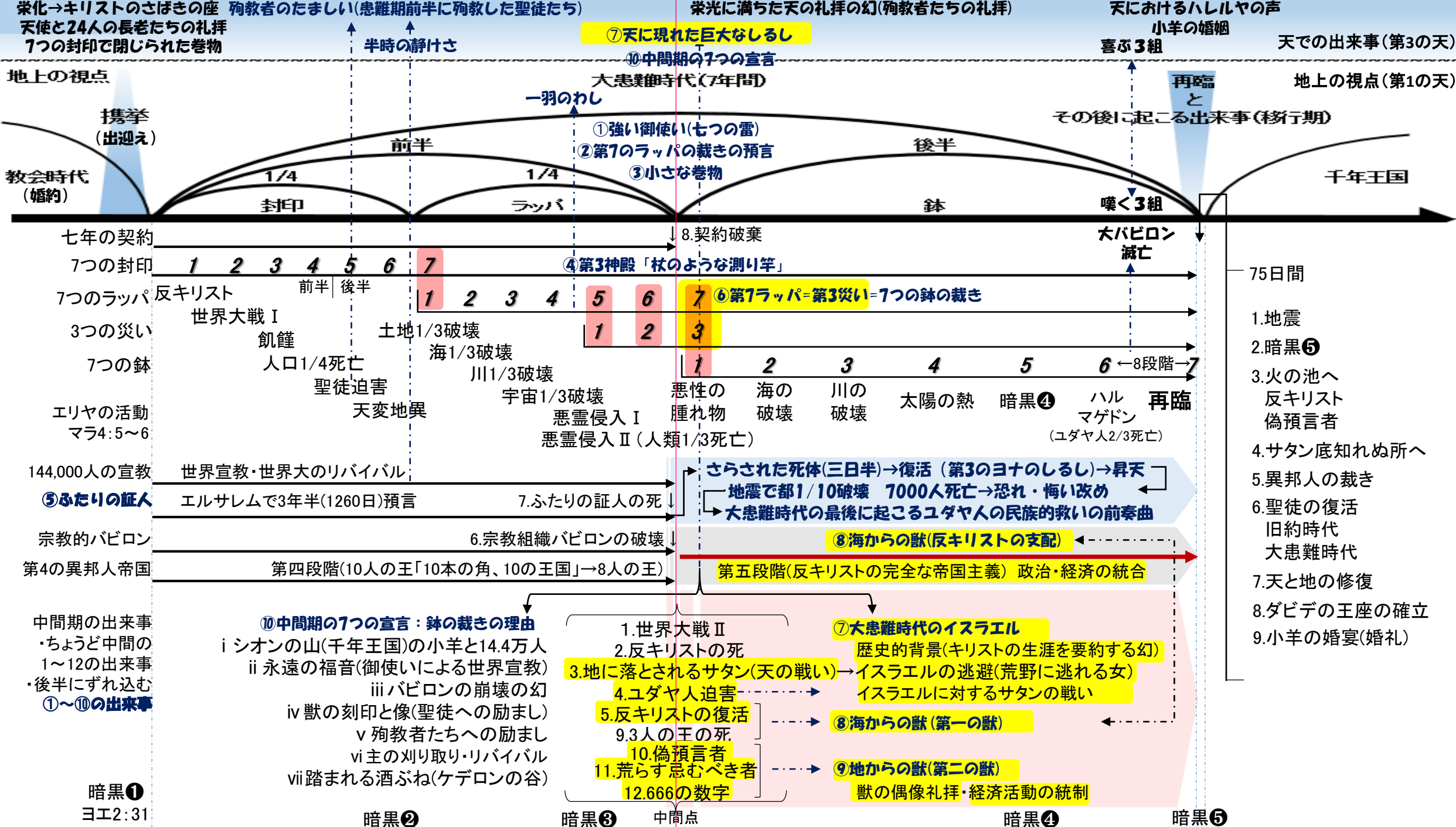
暗黒⑤

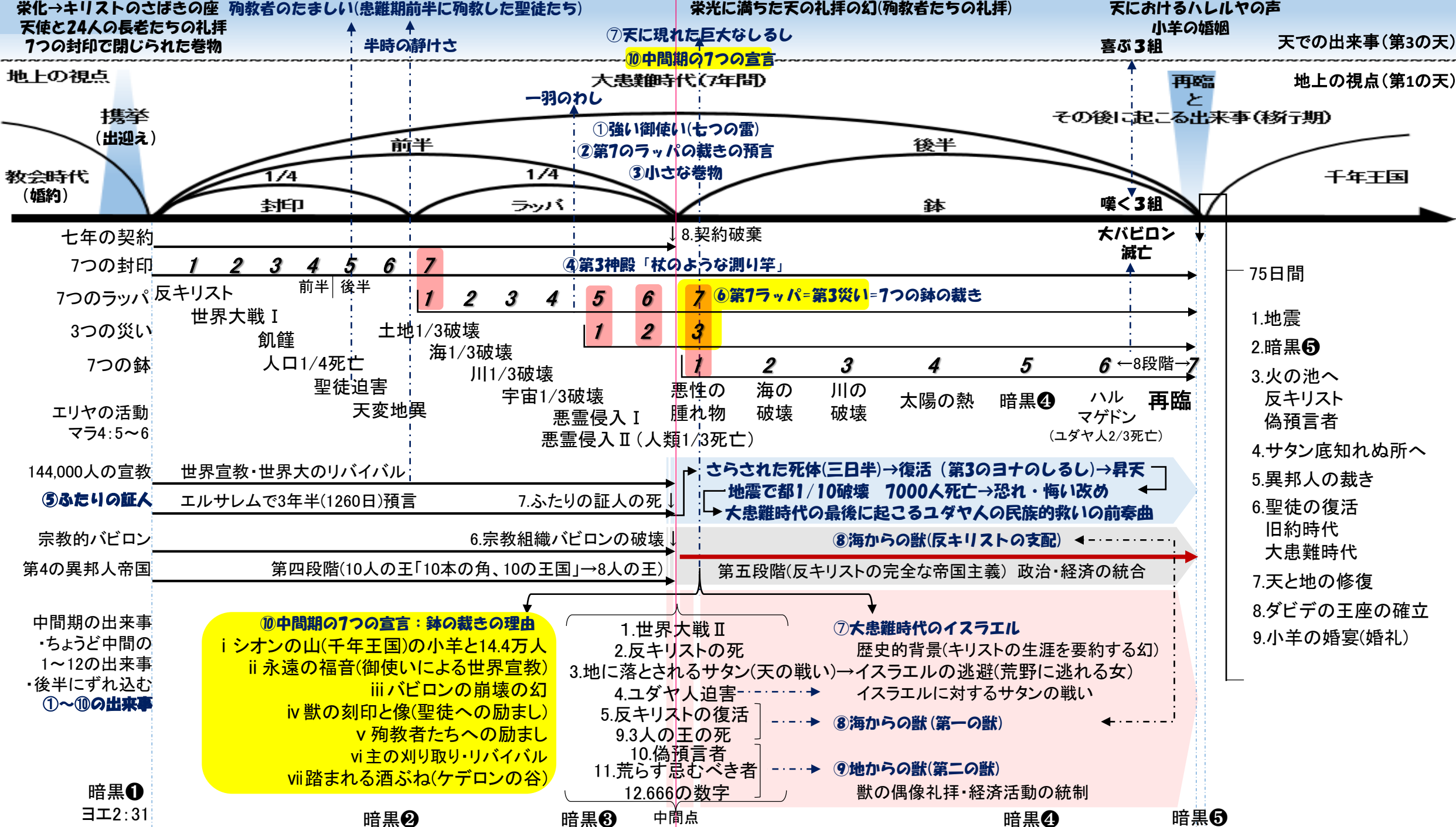
復習：第6回) 黙示録12～14章

中間から後半に起こる出来事

～大患難時代のイスラエルの幻(12～13章)～

～鉢の裁きの2つの理由：中間の7つの宣言(14章)～





⑩中間期の7つの宣言: 鉢の裁きの理由

- i シオンの山 (千年王国) の小羊と14.4万人
- ii 永遠の福音 (御使いによる世界宣教)
- iii バビロンの崩壊の幻
- iv 獣の刻印と像 (聖徒への励まし)
- v 殉教者たちへの励まし
- vi 主の刈り取り・リバイバル
- vii 踏まれる酒ぶね (ケデロンの谷)

1. 世界大戦 II
2. 反キリストの死
3. 地に落とされるサタン (天の戦い) → イスラエルの逃避 (荒野に逃れる女)
4. ユダヤ人迫害
5. 反キリストの復活
9. 3人の王の死
10. 偽預言者
11. 荒らす忌むべき者
12. 666の数字

⑦大患難時代のイスラエル
歴史的背景 (キリストの生涯を要約する幻) | イスラエルに対するサタンの戦い

⑧海からの獣 (第一の獣)

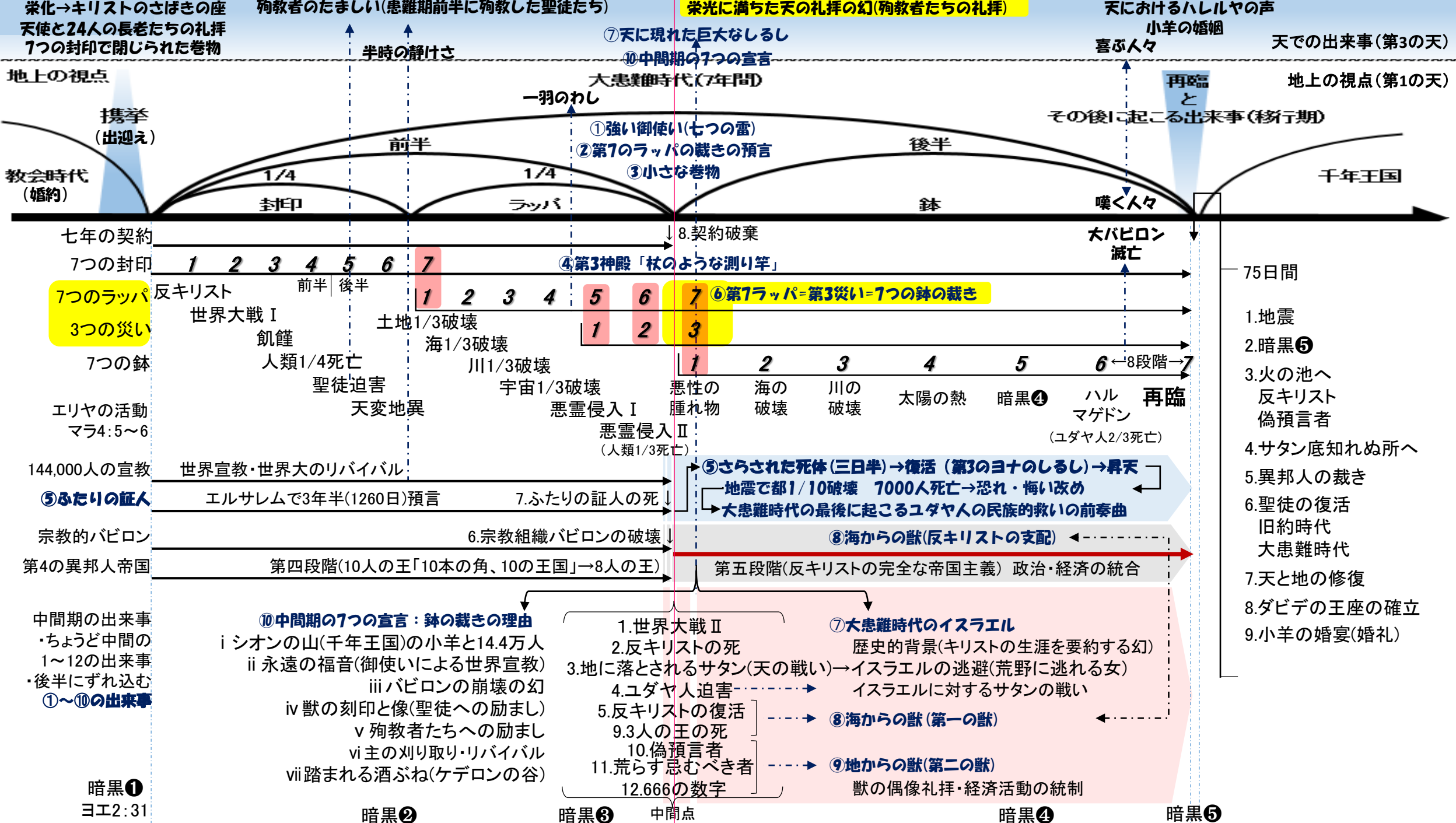
⑨地からの獣 (第二の獣)
獣の偶像礼拝・経済活動の統制

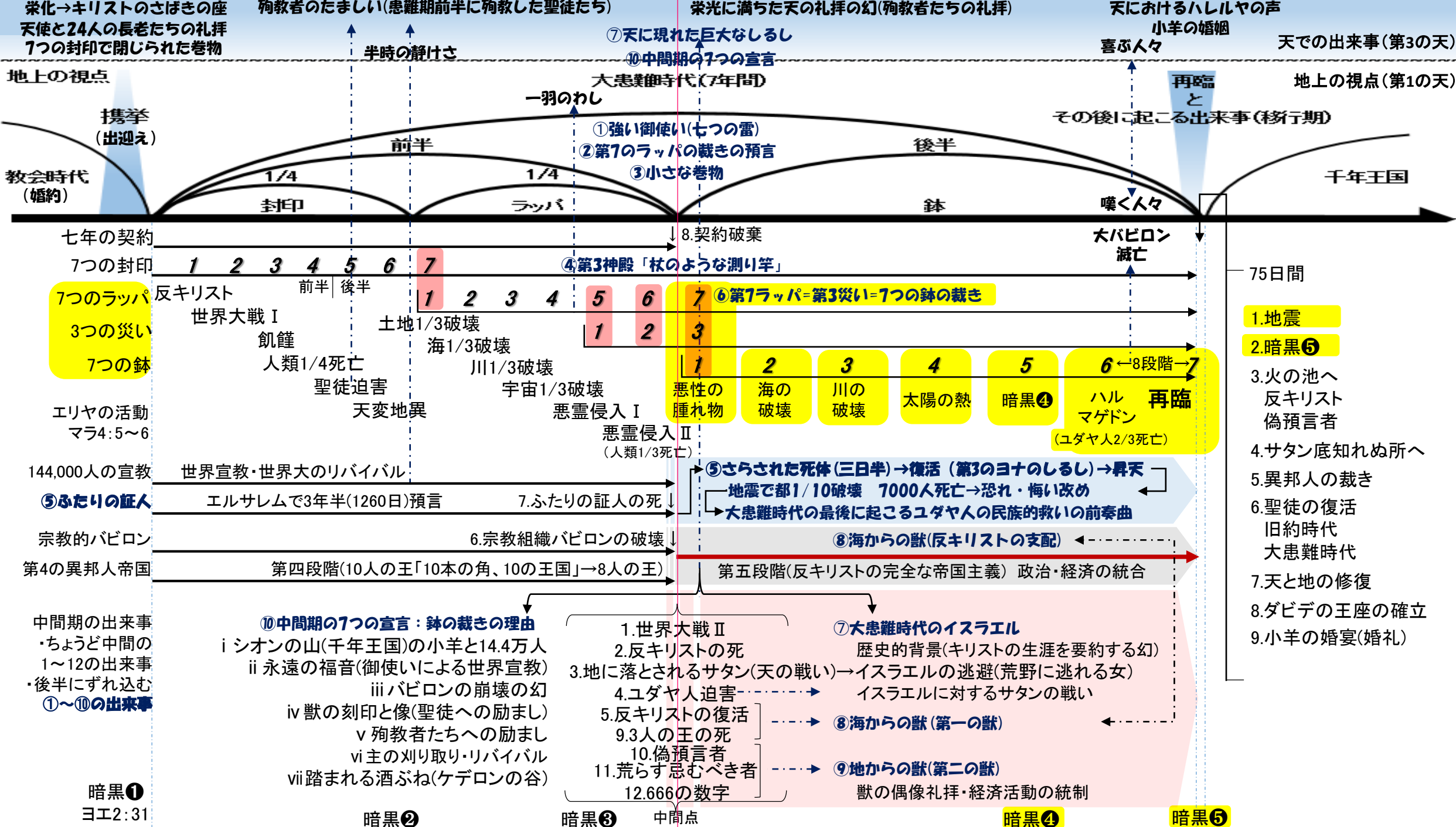
復習：第7回) 黙示録15～16章

後半に起こる出来事

～栄光に満ちた天の礼拝の幻(15章)～

～鉢の裁き(16章)～



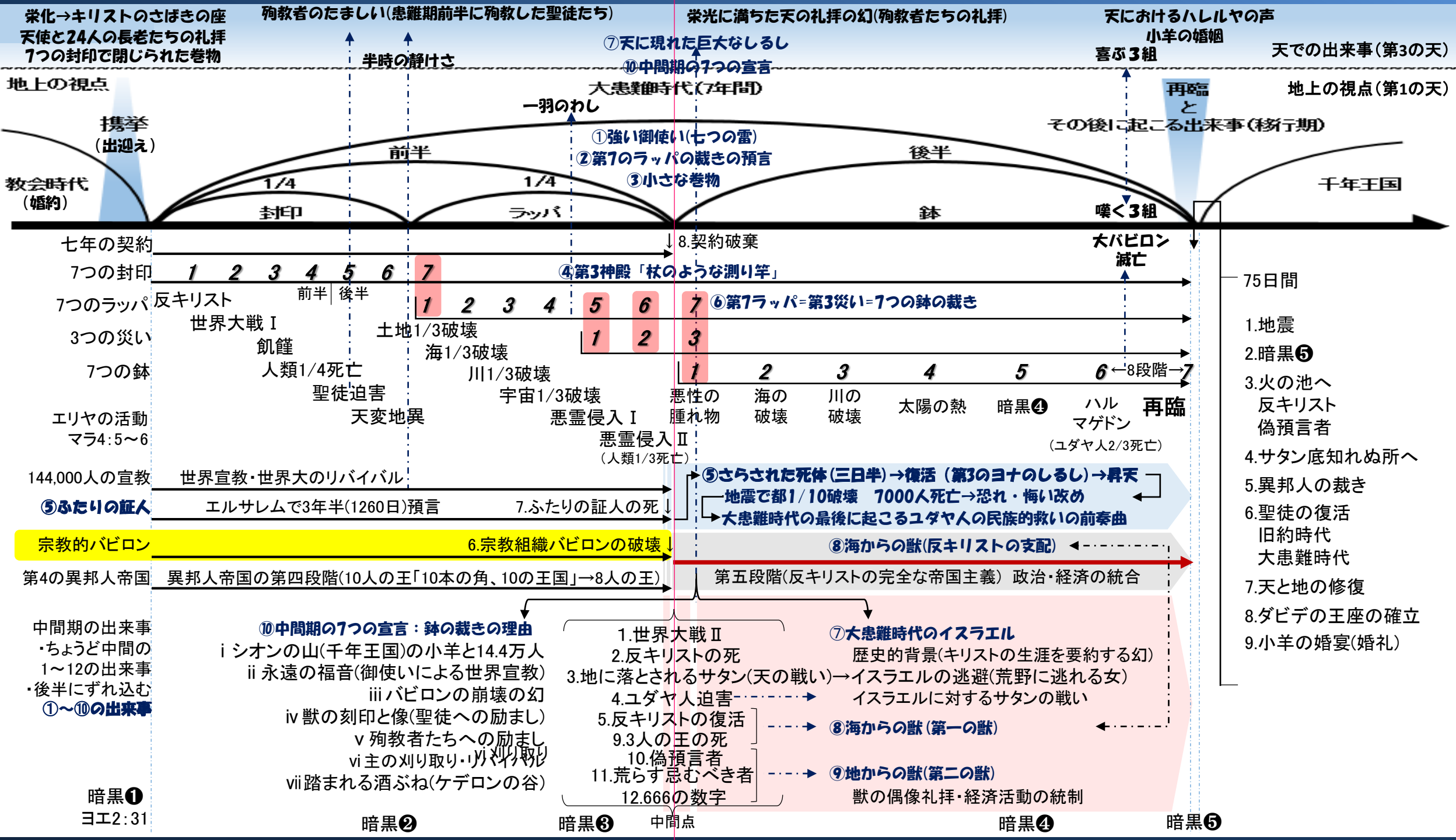


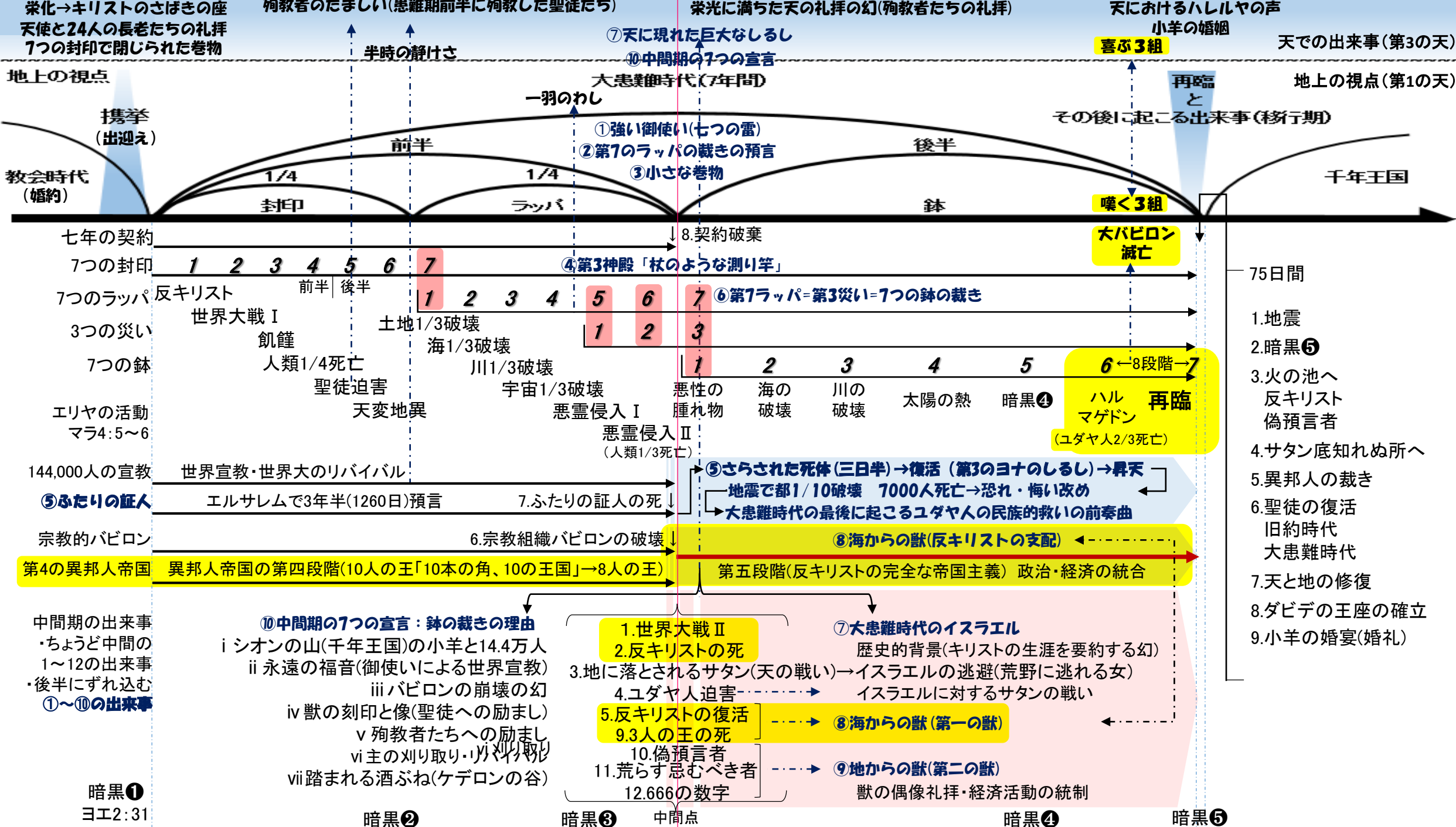
復習：第8回) 黙示録17～18章

二つの大バビロン

～宗教的バビロン (17章)～

～政治的バビロン (18章)～





過去			現在の状態	将来	★大患難時代前半	★大患難時代後半	聖句箇所				
エジプト ?	アッシリヤ ?	異邦人帝国					10本の角	黙13: 1~10 黙17: 9~12			
		第一の異邦人帝国	第二の異邦人帝国	第三の異邦人帝国	第四の異邦人帝国(獣) 帝国主義(帝国主義の5つの段階)						
		獅子のようで 鷲の翼	熊	ひょうのようで 4つの翼	第1段階	第2段階			第3段階	★第4段階	★第5段階
		頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	大きな鉄のきばと10本の角★				ダニ7: 7~12		
					すねは鉄、足は鉄と粘土				ダニ2: 40~43		
			統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの時代	東西分裂 (364年~現在) ★ 現在	統一された 世界政府 ★ 将来	★ 10本の角とは、帝国主義の 第4段階における10人の王。 反キリストが11番目の角として 台頭し3本を倒し8番目の角で ありながら他7人を支配する。 「昔いたが、今はいません。 しかし、やがて底知れぬ所から 上がってきます」 = 反キリストの復活を意味する。 そして彼は二人の証人を殺す。 (黙11:7)	彼(反キリスト)が 来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する。 ★(獣の国)	黙12: 1~5 黙13: 1~10 黙17: 9~12			
						★ 10の王国 10本の角 (同時代の 10人の王「冠」)	★ 8人の王 一時代だけ (黙17: 12)	★ 反キリスト(獣) による支配 (完全な帝国主義)	ダニ7: 7~12 ダニ7: 19~27 ダニ9: 27 ダニ11: 36~45		
第1の頭 (山・王) (統治形態)	第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)	第4の頭 (山・王) (統治形態)	第5の頭 (山・王) (統治形態)	★ 第6の頭 (山・王) (統治形態=帝国主義)	★ 第7の頭(反キリスト) による完全な統治形態					
★ 7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷)							7つの頭				
「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(エジプト?、アッシリヤ?、バビロン、メド・ペルシャ、ギリシャ) 現在(ローマ帝国=帝国主義) 将来(反キリストによる独裁)											

復習：第9回) 黙示録19章

黙示録のクライマックス

～「キリストの再臨」を3つの側面から描写～

～その1 天における「ハレルヤ」の声 序曲・準備～

～その2 再臨そのものの描写～

～その3 ハルマゲドンの戦い～

(イスラエルの国家的回心とキリストの再臨)

キリストの裁きの座

第四の「ハレルヤ」の声

聖化の完成
(栄化)

③小羊の婚姻

携挙

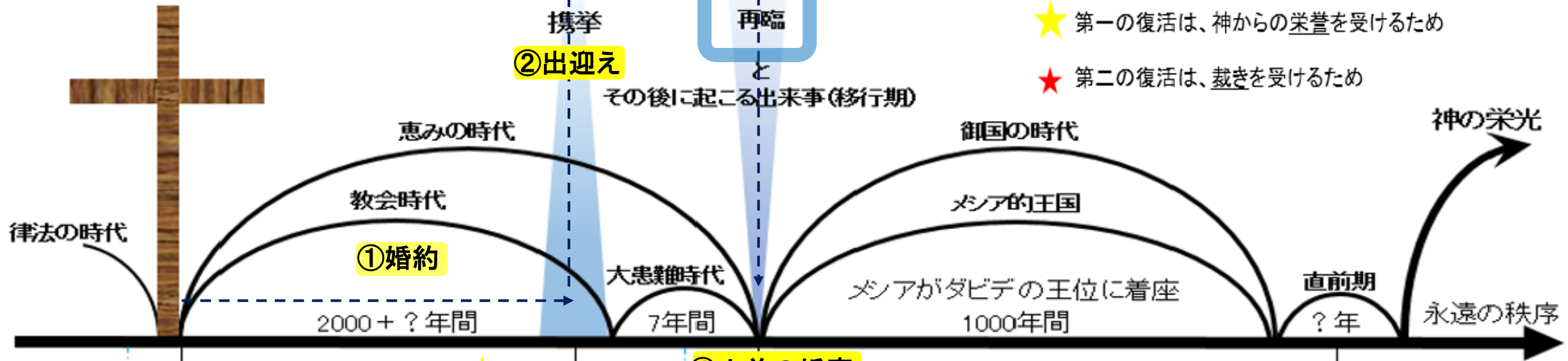
②出迎え

再臨

その後起こる出来事(移行期)

★ 第一の復活は、神からの栄誉を受けるため

★ 第二の復活は、裁きを受けるため



★ メシアの復活
(第一の復活の初穂)

ラザロの復活
(第1のヨナのしるし)

(第2のヨナのしるし)

★ 教会の携挙と
教会時代の聖徒の復活
(第一の復活の2組目)

④小羊の婚宴

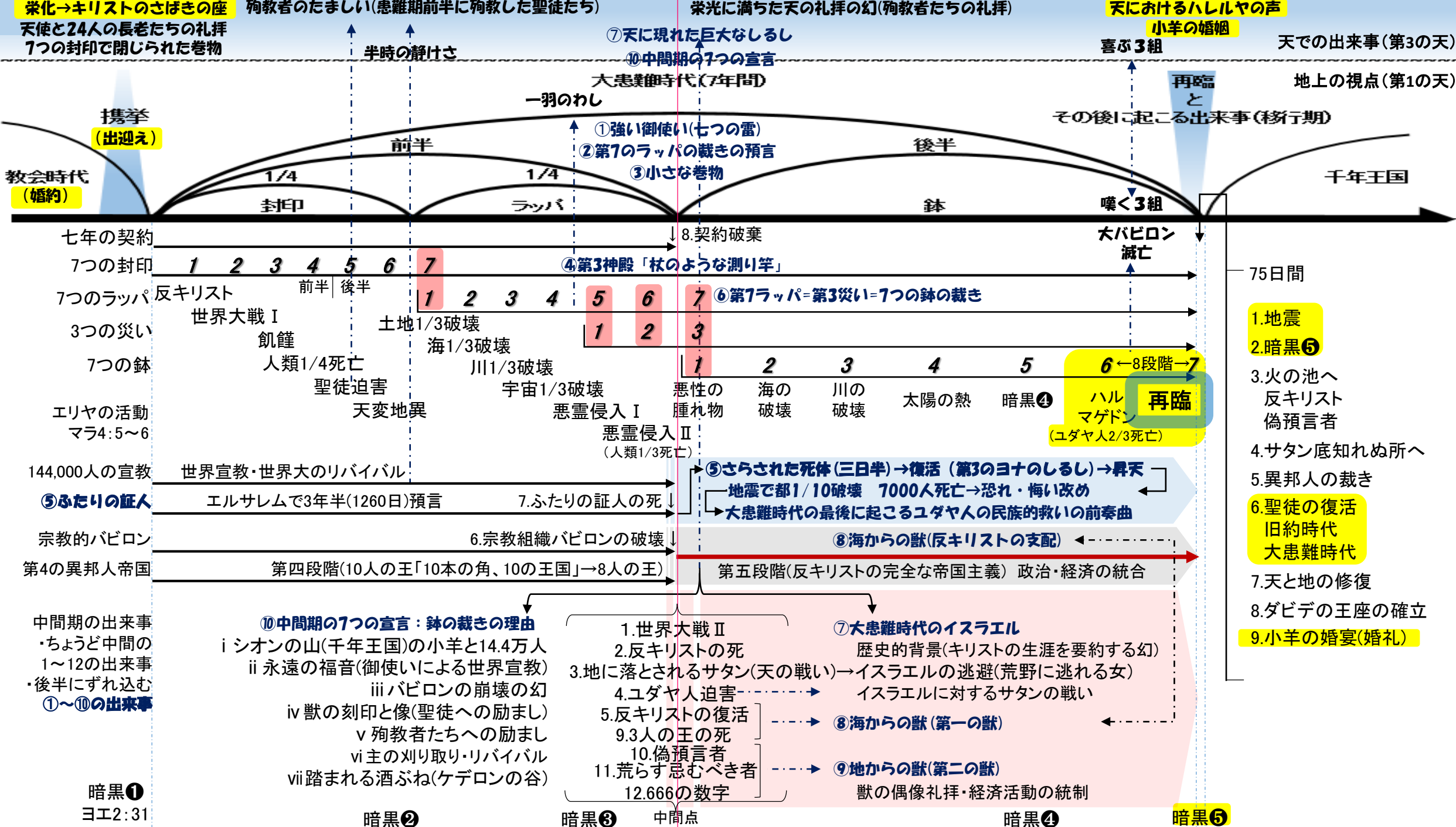
旧約時代の聖徒と
大患難時代の聖徒の復活
(第一の復活の3組目)

ふたりの証人の復活
(第3のヨナのしるし)

★ 反キリストの復活
(罪人の復活の初穂)

★ 第二の復活と
それに続く第二の死

★ あらゆる時代の不信者の復活
「最後の敵である死も滅ぼされる」(I コリ 15: 26)





← 親バビロン、親・反キリストの軍勢

← 反バビロン、反・反キリストの軍勢 (異邦人の信者)

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)
第1段階	軍勢の集結 ・ユーフラテス川の枯渇と悪霊による王の参集	黙16:12~16 (第6の鉢の裁き)
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・異邦人信者による ・神ご自身による	黙14:8 黙18章 黙19:1~5
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃	
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12:6~17
第5段階	イスラエルの民族的救い ・イスラエルによる国家的罪の告白 ・イスラエルの懇願	
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12:7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19:11~16 黙1:7
第7段階	ケデロンの谷で最終的な勝利 ・反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14:17~20
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの雷)	黙16:17~21 (第7の鉢の裁き)

イスラエルの
平野(谷)
(ハルマゲドン)

イラク

第6の鉢の裁き
ユーフラテス川(2800km)
が枯れる

ボツラ
(ペトラ)

大患難時代の終了から千年王国までの75日間(黙19:1-20:3、ダニ12:11:13)

	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
1	地震	黙16:17~21	マタ24:22~29 ゼカ14:3~5 ヨエ3:14~17
2	暗黒		
3	反キリスト・偽預言者 火の池へ	黙19:20	
4	サタン底知れぬ所へ	黙20:1~3	
5	異邦人の裁き ・「羊」は千年王国へ、「山羊」は殺される		ヨエ3:1~3 マタ25:31~46
6	旧約・大患難時代の聖徒復活	黙20:4	ダニ12:2 イザ26:19
7	天と地の修復		イザ65:17~25
8	ダビデの王座の確立		イザ9:6~7 エレ23:5~6 ルカ1:30~33 エゼ40~41章
9	小羊の婚宴	黙19:9~10	ヨハ3:27~30

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
第1段階	軍勢の集結 ・ユーフラテス川の枯涸と悪霊による王の参集	黙16:12~16 (第6の鉢の裁き)	ヨエ3:9~11 詩2
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・異邦人信者による ・神ご自身による	黙14:8 黙18章 黙19:1~5	イザ13~14章 エレ50~51章 ゼカ5:5~11
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃		ゼカ12:1~9 ゼカ14:1~2 ゼカ10:4~9 ミカ4:19~5:1
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12:6~17	エレ49:13~14 ミカ2:12 ダニ11:36~45 マタ24:15~22 イザ33:12~16
第5段階	イスラエルの民族的救い ・イスラエルによる国家的罪の告白 ・イスラエルの懇願		ゼカ12:10 ホセ5:15 詩79 レビ26:39~42 ホセ6:1~3 詩80:1~3, 17 エレ3:12~18 イザ53:1~9 マタ23:37~39 イザ64 ロマ11:26 イザ66
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12:7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19:11~16 黙1:7	イザ34:1~7 イザ63:1~6 ハバ3:1~19 エゼ39:21~29 マタ16:27 マタ24:30 ミカ2:12~13 使1:9~11 1テサ3:13, 4:14 ユダ14~15
第7段階	ケデロンの谷で最終的な勝利 ・反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14:17~20	ヨエ3:12~13
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの香)	黙16:17~21 (第7の鉢の裁き)	ゼカ14:3~4a ゼカ14:4b~5 マタ24:29 ヨエ3:14~17

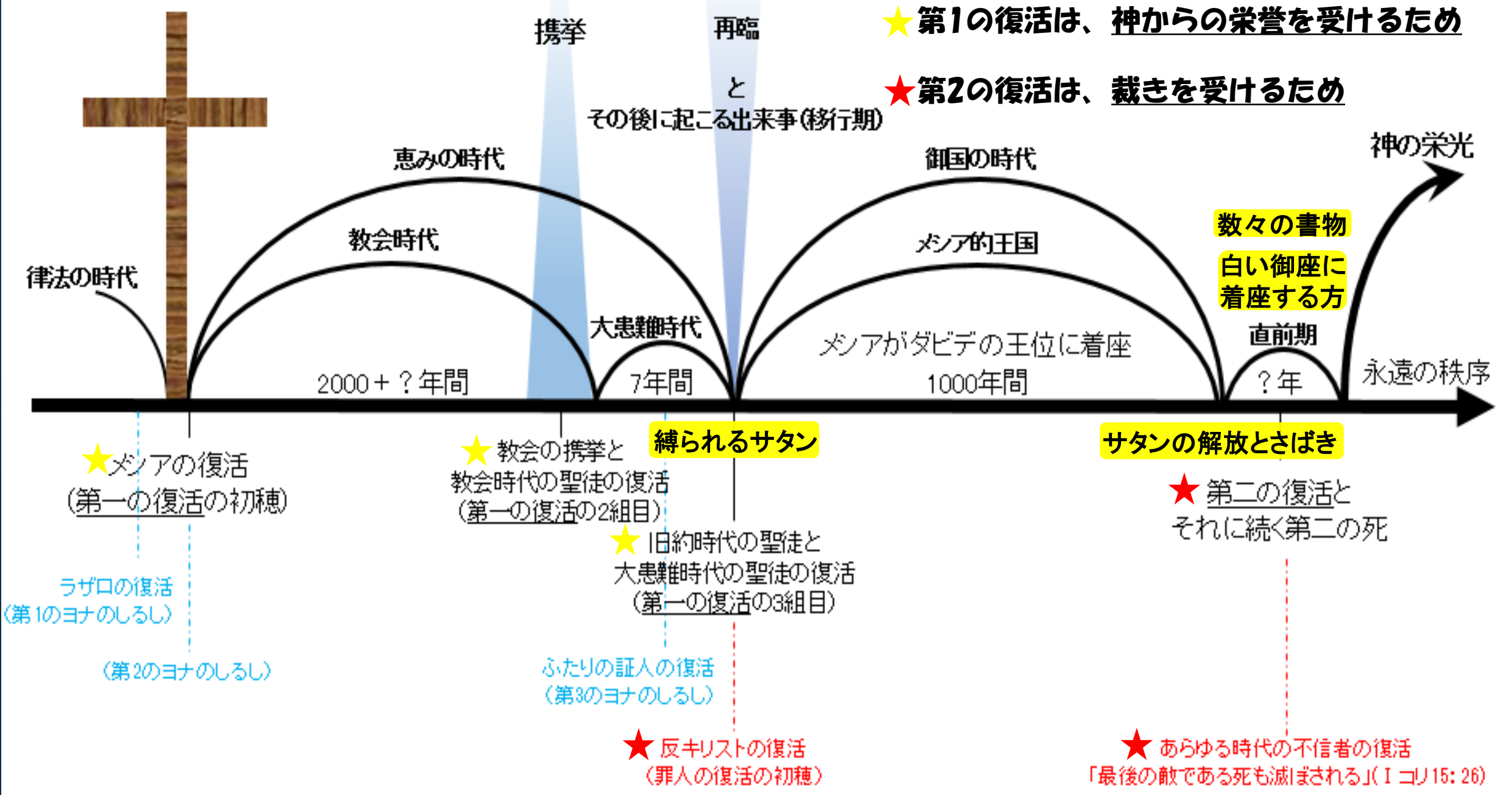
復習：第10回) 黙示録20章

御国の時代とその後の出来事

～御国の時代について～

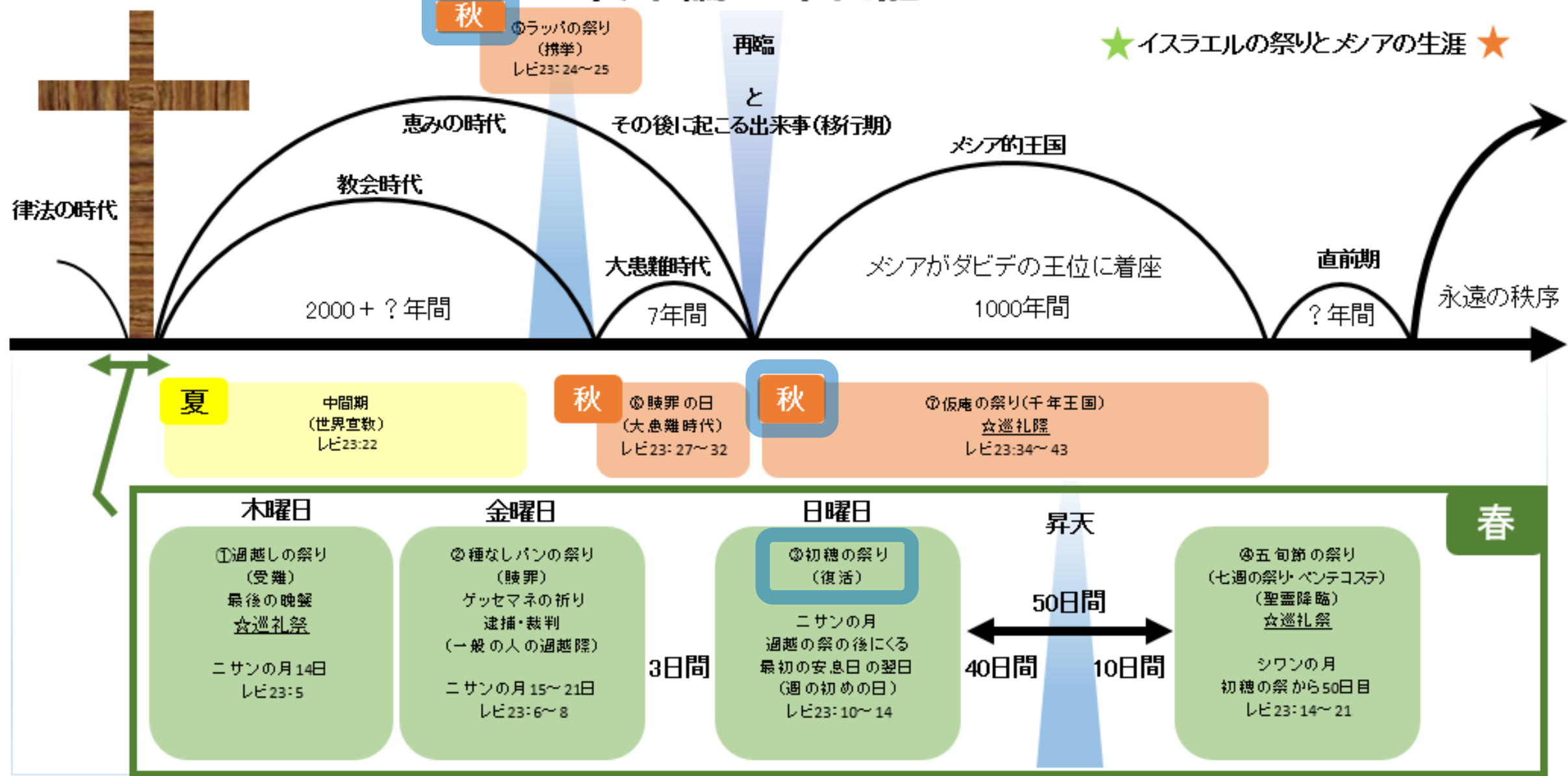
～白い御座のさばきと数々の書物～

～第二の復活と第二の死について～



<p>数々の書 黙20:12</p>	<p>各人の行いが記録された書物。信者とは関係ない。 「いのちの書」に記載されていない罪びと(不信者)の行動が記されており彼らは、その内容に基づいて裁かれる。罪人の裁きにはそれぞれ程度がある。</p>
<p>いのちの書 詩139:16、69:28 出32:31～33 黙3:5、20:11～12</p>	<p>地上に誕生した全ての人の名がきされている書物 罪人のままで死んだ人の名は、その書から消し去られる その人は、白い御座の裁きで裁かれる 千年王国の終了時に「小羊のいのちの書」と「いのちの書」の内容が合致する</p>
<p>小羊のいのちの書 黙13:8、17:8</p>	<p>信者(新生した人)の名前が記された書物 信者の名は天地創造の前からその書に記されている</p>

終末論の年代記



	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天	地上に落とされる	地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって得られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊				エドム or バビロン	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が開く)			
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	

復習：第11回) 黙示録21章 (～22章5節まで)

永遠の御国(秩序)・神の栄光
～過ぎ去る古い世界と出現する新しい世界～
～聖なる都エルサレム～
～都の描写(合計11の特徴)～

永遠の秩序(御国)・神の栄光

地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地

順④:新しいエルサレム(天から下ってくる)

特徴⑥ 都のあかりなる小羊

特徴⑪ 夜がない

特徴⑤ 宝石でできた都

特徴⑩ 額に印された神の御名

特徴④ 都の広さ

特徴①
神の栄光

特徴⑨ いのちの木

特徴③ 土台石

特徴⑧ いのちの水の川

特徴② 聖なる都の城壁と十二の門

特徴⑦ 都にはいる者たち

御国の時代

メシア的王国

順②
白い御座
のさばき

直前期

? 年間

順⑥: 第2の宣言(御座に着いておられる方の声: 2種類の相続)

順⑤: 第1の宣言(御座から出る大きな声: 創3: 16~19のろいからの解放)

順④ 聖なる都エルサレム 順⑦: 聖なる都エルサレムの再記述(黙21: 2の詳述)

1000年間

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地(海がない)

復習：第12回) 黙示録22章 (22章6節～22章21節まで)

結論

～信頼に足る書～

～神からの宣言のことば～

～救いへの招き～

～警告のことば～

祝祷

ヨハネの黙示録 22章21節

『主イエスの恵みがすべての者と
ともにあるように。アーメン。』



IV. 結論

**携挙と再臨に対する
私たちの備えとは？**

モットー

「聖書研究から日本の靈的覚醒（目覚め）が」

学びと行動の両輪（へつ리적인聖書理解とへつ리적인学び「体験的知識」）

「教理」と「実践」という二面性は、

「真理」と「愛」ということばで置き換えることができます。

「真理」（教理）と「愛」（実践）が調和した、真のクリスチャン生活を目指します。

聖書フォーラム運動の基本理念

「**自立と共生**」がキーワード。

- ・一人ひとりが、自立していること。
- ・お互いの個性を大切に、一緒に成長すること。

私たちの**ABC**

AIM … 聖書フォーラム運動の目的は、「神の栄光」を表し、求めること。
私たちは、この人生を通じ、神を誉め称えるために創られました。

BASIS … 私たちの土台は、ユダヤ的視点により聖書を解釈すること。
当時の人たちが理解した方法で、聖書を字義通りに理解します。

CONCEPT … 自主性を重んじ、経済的・精神的に自立した
お互い同士、小さなグループ同士が、ゆるやかにつながり合います。

自立への道

教会の病理現象 (FATIM) からの脱却

①形式主義(FORMALISM)から自由主義(FREEDOM)へ

1. キリストにある自由
2. 愛を働かせるための自由

②権威主義(AUTHORITARIANISM)から自治(AUTONOMY)へ

1. 自給伝道
2. 自主運営

③伝統主義(TRADITIONALISM)から変革(TRANSFORMATION)へ

1. ユダヤ的聖書解釈
2. 神の国の視点

④内向き志向(INWARD-LOOKING)から外向き志向(OUTWARD-LOOKING)へ

1. キリスト教を世界観としてとらえる。
2. キリスト教を歴史観としてとらえる。

⑤会員志向(MEMBERSHIP-ORIENTED)から流動志向(MIGRATION-ORIENTED)へ

1. 歴史の流れと社会の現状を読む。
2. 自らの動機の再確認。